

2026年度 環境報告書



あかつき印刷株式会社

版	発行日	承認	原本管理者
第1版	2026. 7. 15		MS運用 委員会

目次

1、組織の概要	3
2、対象範囲	3
3、経営方針	4
<経営理念>	
<環境方針>	
<環境目標と評価>	
4、あかつき印刷に関わる主な環境等法規制一覧	6
5、とりくみの体制	7
6、実施した環境へのとりくみ	8
7、環境目標のとりくみの評価と次年度の計画	9
(1) 経営者による環境目標のとりくみの評価	
(2) 次年度の計画	

1、組織の概要

- (1) 事業者名 あかつき印刷株式会社
 代表者氏名 大久保 豊
- (2) 所在地 本社：〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2 AP ビル
 電話：03-3497-0031（代）

 本社工場：〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 5-18-21 AS ビル
 電話：03-3350-9841（代）

 MS運用事務局（環境計画事務局兼任）
 電話：03-3350-9841（代）
- (3) 事業の内容 新聞印刷をはじめ、労働組合、平和・民主団体の機関紙・
 宣伝・出版物の印刷・発送、各種 DTP 組版、ホームペー
 ジ制作やソフト開発、システム開発などの情報システム
 分野の事業
- (4) 事業の規模 本社・本社工場社員数（役員・部長含む） 126人
 （2026年7月1日現在）
- (5) 事業年度 4月1日～翌年3月31日まで

2、対象範囲

- (1) 対象事業所 本社及び本社工場
- (2) 対象活動 全活動

3、経営方針

<経営理念>

あかつき印刷株式会社は品質保証と顧客満足向上を実現し、品質でお客様から信頼される会社をめざしています。同時に、環境方針を確立し事業の継続と発展をします。

<環境方針>

1、あかつき印刷株式会社は、環境負荷を減らし、環境汚染の予防と環境保全に努めることで地球環境を守り、経営理念にもとづく事業の継続・発展をめざします。

1、あかつき印刷株式会社は、環境保全のしくみを通じ、環境計画を定め、継続的な改善にとりくみます。環境方針は全従業員に周知し、社内外に公開します。

代表取締役社長 大久保 豊

<環境目標と評価>

全社の業務について、環境方針に基づいた環境側面を特定しその過程で明らかになった環境影響に基づき環境目標を設定します。それを文書化し、推進し、維持します。環境目標は年に一度評価し次年度の計画とします。

目標の各設定は、主要な環境負荷である「二酸化炭素排出量」、「再資源化（リサイクル）」、「水使用量」を前年比較で評価します。「化学物質適正管理」は、SDSを活用し適正な管理を実施しています。「東京都グリーン購入ガイドに沿った環境配慮の実施」は、用紙・インキ・印刷の各工程でガイドの内容が適切に運用されているかを評価します。「不適合件数削減、刷直し件数の削減」は、不適合による無駄な作業を減らす、刷直し等による電力・材料・用紙の環境への負荷を減らします。不適合件数と刷直し件数について前年比で評価します。

1、二酸化炭素排出量の削減
省エネに務め削減します。

①電気使用量

②ガス使用量

2、再資源化（リサイクル）

4R を意識し結果を数値化します。

①事業系廃棄物_可燃物（紙類）

②事業系廃棄物_不燃物

③産業廃棄物

3、水使用量の削減

節水に務め使用量を削減します。

4、化学物質の適正管理

S D S を活用し適正な管理を実施します。

5、東京都グリーン購入ガイドに沿った環境配慮の実施

「東京都グリーン購入推進方針」の 6, 関係団体等への要請の、「物品の調達、環境負荷の低減」「エネルギーの使用や廃棄物発生抑制など環境に配慮したとりくみ」に賛同し、実施します。

①用紙

②インキ

③印刷の各工程

6、不適合製品発生の削減

品質保証と顧客満足向上を不適合製品の発生を排除して実現します。

【環境目標の具体的とりくみと評価】

環境目標	実施場所	単位	比較		達成率	評価
			24年度≧25年度			
			24実績	25実績		

1、二酸化炭素排出量の削減

①電気使用量の削減	本社、本社工場	Kwh	2,592,452	2,494,600	96%	○
②ガス使用量の削減	本社、本社工場	m³	67,917	74,808	110%	△

2、再資源化（リサイクル）

①事業系廃棄物_可燃物（紙類）	本社工場	t	24発生量	24リサイクル量		
			298.9	296.8	99.3%	
			25発生量	25リサイクル量		
			285.3	283.2	99.3%	○
②事業系廃棄物_不燃物	本社工場	t	24発生量	24リサイクル量		
			17.0	14.1	82.9%	
			25発生量	25リサイクル量		
			14.5	12.9	89.0%	○
③産業廃棄物	本社工場	t	24発生量	24リサイクル量		
			6.1	5.3	86.9%	
			25発生量	25リサイクル量		
			5.6	4.9	87.5%	○

3、水使用量の削減

本社、本社工場	m³	8,700	9,756	112%	△
---------	----	-------	-------	------	---

4、化学物質の適正管理

本社工場	—	適正管理に務める	—	—
------	---	----------	---	---

5、東京都グリーン購入ガイドに沿った環境配慮の実施

①用紙	—	使用状況进行评估する	—	○
②インキ	—	使用状況进行评估する	—	○
③印刷の各工程	—	使用状況进行评估する	—	○

6、不適合件数削減、刷直し件数の削減

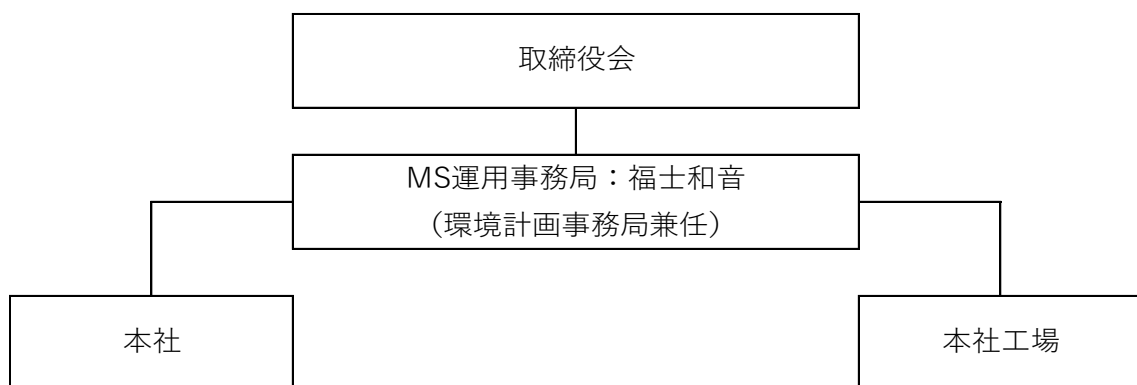
24年		④前年比	
①不適合件数	②刷直し件数		
70	22	87.1%	○
25年		④前年比	
①不適合件数	②刷直し件数		
61	3	13.6%	○

4、あかつき印刷に関わる主な環境等法規制一覧

当社の事業活動に適用される主な環境法規等の一覧です。以下の法律の遵守を確認しました。関係自治体、機関等からの指摘はありません。

分類	適用される法規制等	適用される事項（施設、物質、活動等）	評価
地球環境	特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律	ハロン1301はハロンバンク推進協議会による適正管理、回収、再利用に協力する	○
	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	①機器の設置環境の維持保全、②簡易点検・定期点検、③フロン類の漏洩時の処置、④点検整備の記録と保存。・フロン類の充填、回収の委託義務	○
	エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）	ビルの営業所毎及び年間エネルギー総使用量を記録する	○
	PRTR法	化学物質の適正管理。1 t 以上の購入、濃度1%以上の製品は購入不可。	○
公害防止	大気汚染防止法・規則・施行令	年2回以上のばい煙測定の実施と報告	○
	下水道法	設備の状況に応じ適宜、清掃する	○
	騒音規制法	届出済	○
	振動規制法	届出済	○
	都民の健康と安全を確保する環境に関する	渋谷区役所に届出	○
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	①産廃等の保管基準が守られているか、業者との契約書、許可証の期限と内容の確認、一時保管場所に「産業廃棄物保管場所標識」の掲示 ②低濃度PCB廃棄物の処理	○
	渋谷区清掃及びリサイクルに関する条例	廃棄物管理責任者の選任、事業系廃棄物の再利用計画書の届出	○
危険物	危険物の規制に関する法令	危険物保安監督者の選任、危険物取扱者の免許を持つものの配置	○
	東京都火災予防条例	届出済	○

5、とりくみの体制



6、実施した環境へのとりくみ

環境負荷の削減 CO2 削減



電力削減



エアコン 温度設定



SDS 管理

環境負荷の削減 リサイクル等



分別リサイクル



GPN 会員証



分別リサイクル 2

7、環境目標のとりくみの評価と次年度の計画

（１）経営者による環境目標のとりくみの評価

1、二酸化炭素排出量の ①電気使用量削減は前年比96%と達成しました。照明器具のLED化を進める中で電力削減を実現しました。輪転機の電動機は93%、新聞CTSが92%、コンプレッサとエレベータ、地下冷房、各種エアコンは100%でした。 ②ガス使用量は前年比110%でした。冷温水機は年間を通して増量し、温水ボイラーは暖房期に増加し減少できませんでした。

2、再資源化（リサイクル）の ①紙類の達成率は99.3%と数値的には未達成ですが、輪転機から排紙される白損、黒損の量でほぼ全てがリサイクルされており評価します。 ②不燃物の達成率は数値的には未達成ですが、発生量とリサイクル量を算出し前年比較した場合では前進していますので評価できます。 ③産業廃棄物の達成率も数値的には未達成ですが、発生量とリサイクル量を算出し前年比較した場合では前進していますので評価できます。

3、水使用量は、空調関連設備にて使用量が増加しました。ポンプなどの関連設備を改修し削減しました。

4、化学物質の適正管理は、印刷部が対象ですが、溶剤等はSDS（安全データシート）で管理されています。資材や消耗品を購入する際にはSDSを取得し、PRT法や安衛則、危険物等に該当しないことを確認し、適正に管理・運用しています。

5、東京都グリーン購入ガイドに沿った環境配慮の実施では、用紙、インキ、各工程での環境配慮仕様が定められていますが、適切に運用されています。

6、不適合件数削減、刷直し件数の削減により環境負荷を減らします。前年比で不適合件数、刷直し件数共に減少しており、評価します。

（２）次年度の計画

環境目標に掲げた各項目を次年度も継続します。

以上